



火災ゼロへの願い 西胆振消防組合伊達消防出初式

1月7日、爽やかな冬晴れの中、新年恒例の『西胆振消防組合伊達消防出初式』が行われました。

消防署員や消防団の各分団員ら総勢212名が一堂に会するこの催しは、今年1年のまちの安全・安心を守る団員らの士気を高め、さらに消防団に対する市民の信頼や理解を深めてもらうことを目的に、毎年開催されています。

屋外会場のだて歴史の杜多目的広場では、指揮者の指示にならない団員らによる一糸乱れぬ分列行進や西胆振消防組合管理者の菊谷市長や来賓などによる観閲などを行いました。



無火災祈願の放水が行われました

認知症介護者のつどい『つくしんぼう』

1月10日、保健センターで認知症介護者のつどい『つくしんぼう』が行われました。

平成6年から長年続いているこの催しは、介護上の悩みを抱え孤独になりがちな認知症介護者などが、同じ境遇で苦しんでいる方と話しあう場として、毎月第2火曜日に開催されています。

この日は保健師を含む9名が参加。各々の経験談や悩みを話し合い情報交換を行うなど、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。



経験談を交えながら自由に話をします

とれたてのいちごを手に記念撮影



パンのお礼に「いちごをどうぞ」

12月22日、宮城県亘理町から市内に移住した、いちご生産者の鈴木博之さんが、苫小牧市立北星小2年の奥田琳花さんのご自宅を訪問しました。

今回の訪問は、いちご生産者の皆さんを元気づけようと奥田さん自身が考案し、苫小牧市内の菓子製造販売・(株)三星が実際に商品化した『いちご復興パン』を贈呈されたことがきっかけ。そのお返しに、鈴木さんは感謝の気持ちを添えて、大滝区の栽培施設で収穫したばかりのいちごを直接手渡しました。

阿達ソノさん100歳 「長寿祝状・祝金贈呈」

市では、高齢者の方の長寿を祝福し、これまで社会に貢献してきた労をねぎらい、また、市民の敬老思想の高揚を図る取り組みを進めています。

1月20日、松ヶ枝町の老人保健施設「プライムヘルシータウン湘南」で、菊谷市長が長寿祝状・祝金を贈呈しました。贈呈されたのは、山下町の阿達ソノさん100歳。施設内で百人一首の読み札を読んで時間を過ごされることが多い阿達さんは、ご家族と一緒に笑顔で記念撮影に臨まれました。



祝状を手に記念撮影

「森林・林業再生プラン」を解説する岡田教授



森林・林業行政講演会

1月12日、防災センターで市主催の『森林・林業行政講演会』が開催されました。

講師に、農林水産省の林政審議会会長を務めるなど森林・林業研究の権威として名高い岩手大学教授の岡田秀二^{しゅうじ}さんを招き、「森林・林業再生プランによる林業の再生を」と題した講演が行われました。

講演で岡田さんは「燃料を重油からペレットに切り替えるなど木材を地域で消費・循環させる仕組みを作り、需要を創造することが大切」と訴えました。



伊達政宗歌留多倶楽部 『新春みんなで百人一首』

1月15日、武道館で『新春みんなで百人一首』が行われました。この催しは、お正月の風物詩としてなじみが深い百人一首を通して幅広い年代の交流を図ることを目的に毎年開催されています。今年は14チーム47名が参加し、競技が行われました。

代表の板谷一雄さんの「勝ちにこだわらず仲良く頑張りましょう」の挨拶で開会。礼儀を忘れず相手に一礼をした参加者は、正座姿で向かい合い、真剣な面持ちで読み手の声に耳を傾け、木札を取り合う一瞬一瞬が圧倒的なスピード感で、格闘技ながらの展開が繰り広げられました。



読み手の次の一声に集中！